

せきじりの

富津市立環小学校

学校便り No.20

令和2年3月24日

mail tamaki@futtu.ed.jp

URL http://www.futtu.jp/syo-tamaki/

学校関係者評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3月2日から臨時休校となりましたが、本日3月24日を最後に、令和元年度の環小教育が修了しました。この一年間を振り返り、本校学校評議員の皆様にご協力いただき「学校関係者評価」をしていただきました。評価結果を下記の通りお知らせします。

- 【自己評価】 (A) 十分到達できた (B) ほぼ達成できた
 (C) あまり達成できていない (D) 達成できていない
 【学校関係者評価】 (A) 妥当である (B) ほぼ妥当である (C) 妥当であるとは思わない

【1】 学校経営

評価項目	自己評価	職員自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1 「よく学ぶ子」(めあてを持って、進んで取り組み学び合える・基礎基本や思考・判断・表現力を身につけ、意欲的に勉強できる・地域を愛し、地域について語ることができる)は、達成されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に学ぼうとする姿が見られる。 基礎基本が身につくよう、プリントやコンピュータの活用を図ってきた。 地域については、もっと知る機会を増やしていきたい。 	B	<p><自己評価はほぼ妥当である></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童数が少ない中、一人一人に細かい指導がされていると思う。 学校訪問時に観察するだけであるが、各項目とも妥当であると思う。 授業参観等において、子どもたちが進んで学習に取り組んでいる姿を見ることができた。 基本的には育成されているようだが、個人差が見える。 保護者向けの学校だよりがカラーになり、見やすくなって良かった。 学校だよりが多く発行されて、教育活動が充実していると思う。 地域に発信された学校だよりで学校の教育活動を知ることができた。 地域に関してはまだまだ知らないこともあるため、地域の人に協力してもらい、授業を行うなど子どもたちが興味を持てるようになればいいと思う。
2 「やさしい子」(いつでもどこでも、進んで明るいあいさつ返事ができる・思いやりの心を持って、誰に対しても親切にできる・人と関わる力を持ち、感謝の気持ちを表せる)は、達成されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な挨拶はできるものの、個人差が見られた。 学年を問わず、友だちにやさしく接する子が多いが、相手の立場を考え、行動できる児童の育成をさらに進めたい。 		
3 「がんばる子」(友達に尽くすことができる・めあてを持って最後までやりぬくことができる・進んで運動に親しみ、身体をきたえることができる)は、達成されているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 体育カードを活用し、めあてを持って運動に取り組ませるようにした。毎日継続して取り組みようとする意識が高まってきている。 運動するための基礎となる身体面について、保護者の協力が必要である。 		
4 各種たより(学校、学年、保健、ホームページ等)により、学校の教育活動を発信したか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりがカラー印刷され、教育活動が見やすくなり発信されている。 学年だよりは、行事を中心に発行することができた。今後、質の向上を目指したい。 		



【2】 確かな学力向上

評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1 生徒指導の機能を生かした授業の工夫と、基礎基本の確実な定着が図られたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 「伝え合う」ことを大切に授業をしている。また、学習サポーターのおかげで、少人数や個別指導が数多くできている。 ノートの記述や話し合いの仕方については今後も指導を進めたい。 	B	<p><自己評価はほぼ妥当である></p> <ul style="list-style-type: none"> 読書は以前と比べて良くなってきていると思う。 読書量には、個人差がありそうだ。 基礎基本は個人差があるように思う。 少ない児童の中で、個人差が見受けられるように思う。 田舎の小さな学校の取り組み方として、地域の人たちとふれ合いながら熱心に学んでいると思う。 授業参観で見せていただいた「手話」の授業は印象的だった。「手話」の理解を深めていくには健常者の方で「手話」を活用できる人を講師に迎え、学習していくことも必要だと思う。
2 読書活動の充実が図られたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 読書量は、学期を追うごとに増えてきている。 家庭での読書は、個人の取り組みに差がある。実態を把握し、手立てを講じたい。 		
3 自己表現の場の工夫により、自ら学び思考し、表現する力の育成が図られたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 学習や行事の際に、子どもたちが自分を出したり、発表する機会がたくさんあった。児童の自信につながっている。 		
4 「地域を愛し、地域を語ることができる児童の育成」及び「地域教材の開発・地域講師の協力による学習活動の充実」が図られたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方を招いて手話を学んだり、職場体験をしたり、「地域で学ぶ」学習を行った。 学年により、「地域学習」の取り組みにやや差があった。 		


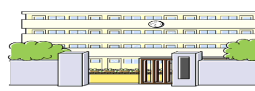
【3】豊かな人間性の育成

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	児童の自己肯定感を高める（自信を高める）活動の充実が図られたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内外の各種行事に参加する中で、自信もつき、自己肯定感も向上したのではないかと思います。 学校生活の中で、教え合い、支え合いの気持ちがよく育っている。 	A	<p><自己評価は妥当である></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各項目とも良くできていると思う。 ○子ども同士、良いところ、悪いところをわかりあいながら接することができる。 ○積極的な行動ができるよう指導されていると思う。 ○特別支援学級は、落ち着いた場所で授業ができていて良いと思う。 ○特別支援学級での授業を参観させていただいた限りでは、子どもたちが生き生きと、伸び伸びと学習に取り組んでいる姿があり、守られているということを感じた。 ○地域で子どもたちに会っても、良い挨拶ができていると思う。 ○挨拶ができていると思うが、声がやや小さく聞こえる。
2	特別支援教育の視点を生かし、心の居場所となるような経営（学級・学校）に努めたか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・特別教室からの帰りに、「ただいま」と教室に入ってくる児童が多い。心の居場所となっていると感じる。 ・特別支援学級児童への対応の仕方について、指導していきたい。 		
3	豊かな人間関係づくりの推進として、明るいあいさつ・返事の指導を積極的に推進したか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は、どの学年の子どもたちもよくできている。 ・返事に関しては、もう少し指導が必要。 		
4	児童理解促進のため、教育相談を定期的の実施し、全職員で現状把握ができたか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童支援会議により、全職員で児童個々の理解ができ、同一歩調で指導にあたれている。 		

【4】健康・体力づくり

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	体力・運動能力の向上を図ったか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長縄やマラソンなど、業間の取り組みが充実していた。 ・低、中、高学年で合同体育を行うことにより、体力の向上が図れている。 	A	<p><自己評価は妥当である></p> <ul style="list-style-type: none"> ○年間を通し、取り組むことがあり、目標も立てやすい。 ○運動会などを通じ、子どもたちが協力的で、少人数だからこそできることが充実していると思う。 ○縄跳びやマラソンは充実しているようだが個人差を感じる。 ○計画的な業間の活用は、子どもたちの体力等を向上させる上で、有効であったと思う。 ○災害に関しては、いろいろなことを想定して訓練をしてほしい。 ○特に災害の対応は、日頃からの訓練が大切であることから専門家（体験者）の話を聞く機会を検討したらどうか。
2	健康安全意識の向上に向けて指導の充実を図ったか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・食育や保健関係の行事がきちんと行われた。 ・学校での指導が、家庭で生かされないことがあり残念である。 		
3	「自分の命を自分で守ることができる」を目指すべく、危険予知・危険回避能力を高め、防災意識の定着を図ったか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな災害が身近で起きたため、子どもたちも危険を予測することが重要だと理解した。今後さらに、自分の身は自分で守るという気持ちを育てる。 		

【5】信頼・活力のある学校

	評価項目	自己評価	自己評価説明欄	関係者評価	関係者評価説明欄
1	学校とPTA・地域社会・保育所・中学校との連携による教育活動の推進を図ったか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参観、引き渡し訓練、運動会等々、学校行事に多くの方が来校してくださる。共に学校づくりができていると思う。 ・（今年度が最終となるが、）中学校との連携が図れている。 	A	<p><自己評価は妥当である></p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業参観、運動会等、学校行事に多くの方の参加が見られた。家庭と学校の連携が図れていると思う。 ○運動会、授業参観等において、学校、PTA、地域との協力体制、信頼関係を感じることができた。 ○学校で催す行事に、過疎化がますます進む中で、地域の大勢の人が参加しており、これからも学校、地域が一体となって良い学校にしてほしいと思う。 ○連携は良くとれていると思う。 ○不祥事もなく、安心して子どもを預けられる。
2	校務の効率化を図り、ゆとりを持って子どもに向き合える職場づくりに努めたか。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場で、職員間の助け合いもできている。 ・自然災害による臨時休校等の影響で、2学期以降はゆとりをもつのが難しかった。 ・ゆとりがないと、子どもへの接し方にも直結する。働き方改革もふまえて考えたい。 		
3	服務規律を遵守し、教育公務員としての信用の保持に努めたか。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の内容をしっかりと行っており、全体として子どもたちの成長に良い影響を与えていると思う。 ・不祥事根絶研修も積極的に行われ、本校から不祥事を出さない、出させない雰囲気をつくれている。 		

「学校関係者評価」は、本年度の教育実践について我々職員が自己評価した結果について、保護者・地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が評価するものです。そして、その評価結果を次年度に活かしていくためのものです。

今回の評価結果を真摯に受け止め、いただいた意見を参考に、次年度の教育実践に活かしていきたいと考えます。